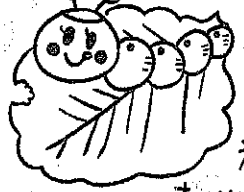
なかひろタイムス 2021 3月号

～子育て応援情報誌～

糸魚川幼稚園



もうすぐ二十四節気のひとつである啓蟄(けいちつ)です。「啓」…ひらく、「蟄」…土中で冬ごもりしている虫 を意味します。虫たちが春を感じて土の中から はい出してくる頃です。今年度のなかひろも3月4日(木)の「なかひろパーティ」(事前予約)で最終となります。社会状況により、予定通り行えるか心配でもありましたが、毎回 楽しみにして遊びに来てくれるお友だちのおかげで励まされました。ありがとうございました。

3月3日は ひな祭り

女の子の健やかな成長や幸せを願う…

幼稚園の和室には、40年ほど前に寄付して頂いたて段飾りが時期になると登場します。又、園外保育で出かけた時に、ジオパルのひな人形を眺めたり、お店に並んでる小物を見たりして伝統行事に触れています。駅北の口の字商店街で、各店所有のひな人形が飾られたり、(お店によっては、見立てびな だったり) した時もありました。見るだけなら ¥0 ですしね～。上越市 高田のやすねで も不要なひな人形が 集められ 何百体!? レベルの人形が ずらずら ――っと並べられ、それは それは 圧巻でした。(感じながら昨年にひき続き今年も 中止かも。)

かんたんに作れる 桜もち

作り方 ①ボウルに白玉粉大さじ2を入れ、水1カップ弱を少しずつ注いでよくまぜ、砂糖大さじ2、小麦粉70gも加えてこし器でこす。②食紅と水各少々をまぜてよくとかし、淡い桜色になるように①に加えまぜる。③フライパンにサラダ油を薄く塗り、②のたねを大さじ1強ずつ楕円(12×6cmを目安に)になるようにお玉で流し入れ、焼き色がつかないようにごく弱火で両面に火を通す。8～10枚焼けるので、焼き上がったら1枚ずつラップで包んでおくと、しっとりする。④市販のこしあん200～250gを③の枚数に等分して球形に丸め、③でサンドする。⑤市販の桜の葉の塩漬けを必要な個数分水洗いして水けをふき、④を皮の上からくるむ。

我が家は、桜の葉の塩漬けを使わず、ミニサイズにして作ってます

3月3日は耳の日でもあります

子どもの耳

耳とのど・鼻は、耳管でつながっています。子どもは耳管が大人よりも太く短いため、のどや鼻に付いたウイルスや細菌が、耳管を通って耳の中に入りやすくなっています。中耳炎などのトラブルを起こしやすいので、しきりに耳を触る、痛がる、耳だれがあるなどの場合は、早めに受診しましょう。

画面と言えば

以前、車の販売店で、「子どもいれば DVDとか観るでしょ!? (オプションで テレビ必要でしょ!? 取付た方がいいよー)」と言われ カッチーン* そりゃ泣いたりぐずったりした時は、DVD効果は あるけど―。あたりまえのように言われ* 『車に乗ってすぐDVDを再生すれば、子どもは 集中するでしょ!! 見入ってる間に目的地に着くでしょ!! どこを通ってきたとか、どんな景色が見えたとか わからないでしょ!! 移動してる過程がさぁー!! いつでも どこでも 行けると思うでしょー!!』と 昭和人間の私は、若い営業マンに口大えてしまいました。

テレビ今昔物語

1953年、NHKと日本テレビが放送を開始。その後 1950年代後半より 白黒テレビは、洗濯機・冷蔵庫と並んで「三種の神器」と呼ばれ、一般家庭へと普及してきました。当時の価格は、29万円(ちなみに高卒国家公務員の初任給5,400円だったので…約54倍)かぁ。そして60年代後半、カラーテレビが登場し 自動車・クーラーと並んで「新・三種の神器」として広く普及しました。70年代に入ると カラーテレビの普及率は一気に上昇し"一家に一台"があたりまえの時代となってきました。1976年に家庭用ビデオデッキが 登場し、テレビ番組を録画して保存できるようになり、一家全員揃って テレビを囲むスタイルが 変化しはじめました。1980年代に入ると、テレビは 家族のものだけでなく 個人で 所有するケースが増え始め、一世帯2台以上の保有台数となりました。2011年、地上波アナログ放送の終了に伴い テレビのほとんどが 薄型テレビに切り替わり、大画面が一般的となりました。同時に 1980年代 国内初の携帯電話レンタルが 開始されました。2010年代には、スマートフォンが 急速に 私たちの生活に浸透し始め、"一人一台"の時代となり、映像も音も 手軽に 持ち運べるようになりました…。

私が子どもの頃…とりあえず カラーテレビでしたが 家族と一緒に見ていましたね～ テレビ番組も、それを見るであろう世代に合わせて 時間配分されており、子ども向け番組が 終われば、お風呂に入り、21時には 眠れる感じで…、まだ録画システムがなかったので「～見たいから、始まるまでに～をやっておこう」とか おばあちゃんが 時代劇見たいって言うし、まぁいいっかぁ… ともれなく見てたり、お互い ゆずり合っていたような気がします。特に興味はないけど 目から耳から水戸黄門が入ってきたり、大人の恋愛ドラマにドキドキしたり…。我が娘は、「宿題やらなきゃ…でも、録画してあったのを 先ず見るか～」「ご飯食べるし、(録画を)止めておこうか～」と、ダラダラ見続けることに。テレビを占領できないと…「パソコン 貸して～」と 次は、You Tubeへ。しかも 手慣れた感じで 見たい動画を検索し、一つ見終わっても 次々と関連する動画が紹介されますしねー。結局 興味ある分野のみにどっぷりハマることに。下の娘は、もれなく空いてる i pad や スマホを使いこなし!? 小さい画面で 自分の世界を楽しむことに。見のがしても 聞きのがしても 指一本で巻戻し 何回も見たり 聞いたり できますしねー。プレゼントの応募先や料理の作り方をあわてて メモすることなく、自分のペースで 見ることできますしねー。それがあたりまえの世の中に 生まれてきてるんですもんねー。見るな!! 使うな!! と言っても 無理な話ですよねー。一方、園では、絵本や紙芝居に出合う機会が よくあります。これこそ 自分が興味あっても なくても みんな(複数)で 同じ時に 同じ場所で 同じお話を 見て聞く場となります。寝転がって見てる子も いなければ、途中でトイレへ行くこともなく わずかな時間ですが、お行儀よく 集中して 今のところ 見てますよ～。絵は動かないけど 話し手によって 雰囲気が変わる 絵本や紙芝居の世界… 貴重かもしれませんねぇ～

余談ですが… 子どもが まだ小さい時、テレビ画面に 親指と ひとさし指を 付け、スライドさせ えぇー!? テレビの画面は 指で 大きくなりませんよー